E 22

大都市ニュータウン在住の雇用労働者夫妻の生活時間・生活様式
第2報 生活時間の全般的分析

都立立川短大：○大竹美登利、伊藤セツ、昭和女大短大：天野寛子、森ます美、瀬沼頼子、日本福祉大（非）：居城舜子、高知大教育：鈴木敏子、日本女大家政：天野晴子、昭和女大家政：上岡薫

目的：本報では第1報で述べた調査中、もっとも基本的な部分、すなわち妻の職の有無・勤務形態別の、平日、土曜、休日並びに週推計の夫妻の生活時間分析を行う。

方法：第1報のとおりである。

結果：妻の職の有無・勤務形態別に平日の夫妻の生活時間の相違をみると、1. 生理的生活時間は妻無職の夫が最も短く、他は10時間10分台で同程度である。2. 収入労働時間（休憩時間を除く）は夫はいずれも11時間をこえ、妻無職の夫が最も長い。3. 家事的生活時間は、無職妻8時間半、パート5時間、常勤3時間半、夫はそれぞれ14分、10分、31分であった。4. 全労働時間（収入労働時間＋家事的生活時間）は常勤妻が最も長く、他方、社会的文化的生活時間は無職妻が最長であった。なお、土曜、休日及び週推計もあわせて報告する。

妻の職の有無・勤務形態別、平日の夫妻の生活時間

妻の職の有無・勤務形態	無職		パート		常勤	
夫妻別 / 生活時間分類	夫 時分	妻 時分	夫 時分	妻 時分	夫 時分	妻 時分
生理的生活時間	9.55	10.10	10.17	10.19	10 19	10 17
収入労働時間	11.37	2	11.21	6.16	11.16	8.24
調理	1	2.04	0	1.44	5	1.20
食事の片付け	0	51	0	40	5	33
住生活管理	1	54	1	28	2	9
衣生活管理	0	1.07	0	40	3	28
裁縫・編物	0	19	0	7	0	9
買物	3	55	1	30	2	19
育児・教育(私)	9	1.45	4	40	9	21
育児・教育(公)	0	10	4	2	1	5
世話	0	9	0	11	1	2
家政管理	0	3	0	1	0	1
その他	0	16	0	7	3	5
家事的生活時間	14	8.33	10	5.10	31	3.32
全労働時間	11.51	8.35	11.31	11.26	11.47	11.56
社会的・文化的生活時間	2.14	5.12	2.12	2.15	1.54	1.47
総計	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00